

14 特別活動

I 本県が目指す特別活動の授業

様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら
 集団や自己の生活上の課題を解決する特別活動の学習

II 教材研究の充実

特別活動における教材研究のポイント 小5 学級活動(1)「5年2組をよりよくするための
 係を考えて、決めよう～1学期を振り返り～」の例

学習指導要領に示された目標及び内容を確認する

子供の視点から

発達段階に即して重点を絞る

子供の発達段階を踏まえ、集団の実態を考慮して指導計画を作成する。

素地となる資質・能力の把握

本議題・題材で扱う「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」などの課題解決に向けた子供の実態を把握する。

【ポイント】 集団活動における話し合い活動の進め方や合意形成の仕方、チームワークの重要性や集団活動における役割など、特別活動の前提に関わる資質・能力を把握する。

教材の視点から

発達段階に応じた議題・題材の教材化

子供の発達段階や学級ごとの年間指導計画を踏まえ、主体的に取り組める切実感のある議題や題材を選択する。

各教科等との関連

特別活動の学びと各教科等の学びが往還し、教科等の枠を超えて、特別活動での実践や生活、学習などが自己の将来や社会づくりにつながっていくことを踏まえて議題・題材を構想する。

【ポイント】 学校生活における子供の様子やアンケート等から、子供が課題と感じていることを把握しておく。さらに、計画委員会を組織し、子供が日頃より自分たちの実態を把握することを通して、議題や題材を選定できるよう支援する。

学習の過程の視点から

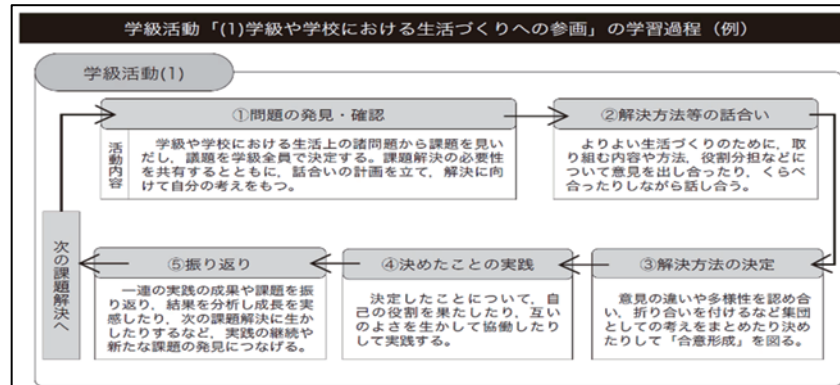
学習過程の明確化

学級活動(1)(2)(3)、児童会(生徒会)活動、クラブ活動、学校行事それぞれの特徴を踏まえた学習過程を構想する。

主体的・対話的で深い学び

- ▶ 学級や学校における集団活動を通して、生活上の諸課題を自分たちで見いだし、解決できるような展開を構想する。
- ▶ 児童生徒相互や異年齢等との話し合い活動を通して、自己の考え方を協働的に広げ深めていく場面や校外活動等学校生活では得られない体験から新たな気づきを得る場面を設定する。
- ▶ 実践を課題の設定から振り返りまでの一連の活動と捉える。そのプロセスで子供が、教科等の学習で身に付けた知識や技能を活用し、集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」に関わる議題や題材に取り組むことができるよう、意図的・計画的に設定する。

【ポイント】



Ⅲ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善例

【学 年】 小学校 第5学年

【議 題】 5年2組をよりよくするための係を考えて、決めよう～1学期を振り返り～










【評価規準】

内容：学級活動(1)イ

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
みんなで楽しく豊かな学級の生活をつくるために他者と協働して係活動に取り組むことの意義を理解している。 創意工夫を生かした活動に必要な方法を身に付けている。	楽しく豊かな学級の生活をつくるために、必要な係について話し合っ合意形成を図り、見通しをもって活動計画を立て、信頼し支え合っ実践している。	楽しく豊かな学級の生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして係活動に取り組もうとしている。

【主な学習活動と評価計画】

(☆…「記録に残す評価」♡…「学習改善につなげる評価」)

時	○学習活動  児童の意識 ( 端末とクラウドの活用例)	評価の観点			評価方法	授業改善の視点 取組の具体例
		知	思	態		
事前の活動(朝の会や放課後)	<p>【ねらい】学級を楽しく豊かにするためにこれまでの係活動を見直した児童が、必要な係を出し合い、よりよく合意形成し、組織をつくることで、創意工夫しながら自発的、自治的な活動ができるようにする。</p> <p>○議題を決定する。(学級全員)</p> <p>○活動計画の作成や進行の仕方を確認する。(計画委員会、司会)</p> <p> ノートツールに議題に対する、自分の考えを記入する。</p> <p> 2学期に、ほめほめ係を新しく設置して、友達のよいところをほめる係をつくりたいな。</p>	☆♡			<p>問題への意識を高める</p> <p>事前の議題提示:学習への関心を高めて本時に臨むことができるようにします。事前の考えの記入:自己の課題として、問題意識の高まりが期待できます。</p> <p>☆計画委員会の活動から、話し合いの進め方を理解し、身に付けているかノートツールの記述から評価する。</p>	
本時	<p>議題：5年2組をよりよくするための係を考えて、決めよう</p> <p>話し合い</p> <p>○議題、提案理由、決まっていることの確認をする。(司会)</p> <p>○話し合うこと ① 出し合う どんな係にするのか出し合う。</p> <p>○話し合うこと ② くらべ合う  情報共有ツールを使い、活動の工夫やアイデアを考える。</p> <p> ほめほめカードをつくって、お互いに交換するのはどうかな。</p> <p>○話し合うこと ③ まとめる(決める) 係を決定し、自分の所属を決める。</p> <p> ほめほめ係もいいけど、学級のために、立候補者の少ないニュース係を担当して協力しよう。</p> <p>○話し合いを振り返る</p> <p>○先生の話聞く</p>	☆♡			<p>考え方や意見を比べる</p> <p>板書やタブレット端末を用いて話し合いの流れや、思考を可視化、構造化することで、より話し合いをスムーズに進めたり、深めたりすることができるようにします。</p> <p>☆どんな活動がより学級生活を楽しく豊かにするか、友達の考え方や意見と比べて聞いたり、経験を踏まえて、根拠を明確にして発言しているか観察して評価する。</p> <p>目的(提案理由)に沿って学級会を進める</p> <p>話し合いが混乱したときやねらいから大きく離れた場合などは、話し合いを止めて適切な指導助言を行います。</p> <p>解決方法の決定(合意形成)をする</p> <p>異なる意見や少数意見も尊重し、できるだけ多くの意見のよさを生かす方法を考え、多数決だけでなく、折り合いを付けて、集団として意見をまとめていくよう助言します。</p>	
事後の活動	<p>○係で考えたことを、協力し合い、実行する。</p> <p> ノートツールに係活動の振り返りを記入する。</p> <p> 役目をきちんと果たせているよ。もっとできないことがないか考えてみよう。</p>	☆♡		☆♡	<p>自己の成長を振り返る</p> <p>目的や活動計画にも基づいて、振り返ることができる場や機会を設定します。</p> <p>☆決めたことに協働して取り組み、自他の活動のよさや頑張りに気付き、次の活動に生かそうとしているか、ノートツールの記述から評価する。</p>	